

児 行
印教研 理科研究部
事 務 局
成田市成田950
成田小学校内

成田市成田950
成田小学校内

学校園

穴澤金

間消毒してから木こうに入れます。新しい木こうでも同様に消毒

(2) 露月つくりあれこれ
酒々井中 榎本正三

私は元采図書館員をもつていた

(2) 酒々井中 榎 本 正三
私は元采園芸趣味をもつていた
二十耳ぐらい前から菊や朝顔を栽培
して巨大で美しい花の開花にす
べてとがけて三六五日の培养に心
をくだしたものである。菊や朝顔
の栽培で灌水は最も大切な管理の
一つである。灌水にはその種類や
成育過程又は季節によつて灌水の
時間や回数が非常に大き問題に
なるのであるが、私は勤務の關係
でかくすべきことは知りながら全
くとひうてより程それを実行する
ことが不可能であつた。これでは
菊や朝顔の本采園としている天性特
性を開花時に発現させることがで
きないことを嘆く残念に思つてい

の味や朝霧程の神経をつかう心要
のないことを体験とおして知る
ことができた。その頃から私の趣
味の方向が皇日教店に變つてきな
ようである。その後千葉に出張し
た時など、京成千葉駅前の風花店
を飾つてゐる松波や草笛の美しさ
に魅せられ私の心を奪つてしまつ
た。それからというものは、しば
しば皇日の専門店に足を入れるよ
うになつた。それだけでは満足で
き石ひで横浜の坂田種苗から二郎
庄の小苗をとりよせたり、川口市
や宇都宮あたりまで足をのばして
いろいろの品種を集めるようにな
つた。

の葉や花を咲かせる枝が発生する
ことがある。この枝と見てこのび
た新芽をさし芽すると親木とは全
く別の性質をもつた草由が誕生す
る。二のような現象を枝変りとい
つて現在はされてゐるより品種
の中にもうにして固定したも
のがかなりある。自分の栽培して
いる草由からいつどんな枝変りが
生まれるかという楽しみがおこつ
てくる。交配による品種改良など
も興味がもてるが現在のような境
遇ではそれは全く不可能に近いこと
であるので枝変りに希望をかけ
るには草由づくりの心ははずむ
のである。(以下次回)

二昼夜たつて水をうのふちに留めます。近づけると魚が近よってくるようになります。そのとき、ごく少量のエサを与えます。(「はんぱ」)粒ぐらいの量)近よってこながつたらやらないこと、そして更に静かにしてもう一白様子をみます。こうして馴らした金魚は子ども達が少々乱暴にそのまわりで動いても驚くようなどはありません。その運動、その食べ方實に良く觀察させてくれます。

教研推進計画をまる

その頃私の家の庭に翠月さんは旧花に属する薩摩紅や紅牡丹・大孟などの株立ちのものがあつた。庭園用に増殖しようと思いつき、蘭の子し芽の方法を翠月の新芽ざしに応用してみたところ、おもしろいように活着率高して成長も早く数年もすると見事な株になり、たくさんのかわいい花を咲かせるようになつた。翠月は元来非常に水分を好み植物であるが露地栽培の場合は全然灌水などの心配をする必要はない。鉢栽培や盆栽の場合はかなり灌水に気をくばる必要はあるものの

たのしみは何といつても花を咲かせる」とある。前にも述べたが、臯田は花色や花の大小、その外無地物から絞り咲き、底白咲き、薄輪咲き、桔梗咲き、臯田咲き、采咲きなど種々さまざまであり、絞り咲きにも堅絞り、春雨絞り、伊達絞りなど花形の変化は非常に複雑である。その上一本の臯田からいろいろの花色や花形が開花するのには臯田栽培の醍醐味といつてよいだろ。

植物の宝庫といふべき、偏重化植物の宝庫といふべき、三里塚周辺の植物の種類が近く一変するだろうということを考えられますので、今のうちに、それらの分布や種類を調べたり、写真に撮つたり、標本を作つたりしたら、というわけです。

あくまでも、ものすき者の会石のです。

次に参加くださる人は、住所、氏名、勤務校をご記入の上、成田小学校・武蔵先生までご一報下さい。会合の折には通知をさしあげます。

かれるのです。生物を飼育するのにヒケツなんかありません。あるのは対象物の理解だけです。特に人間と異なり金魚は水中の動物だけに看かかるが正しい理解がもてません。愛情というものは相手を理解することでしょう。金魚はその生きることでよくあります。まことに多くの条件の半分を理解してやれば必ず成長していくものなのです。次に具体的に述べます。

1 算うとき — よく金魚は何年ぐらいたりますか? という質問を受けますが、普通金魚の寿命は七、八年といわれています。中には一

箱や池で逃げず、手もとの宿すくしあげて逃ぶことです。

2 水そうに入れる前に = 第つきた金魚をすぐ水そうに入れることはあまりよくありません。ましてその水そうに先住するじる場合ではあります。ビニール袋のままさうの中にひたして、袋の邊と水そうの水温が同温になるまで待つて水そうの中に放してやのです。先住者のいる場合は同じして他の容器に入れ、雑巾(ハサ)ツに布サジ(ハサ)ツは1半の食槽で(ハ)

過日のオーライ研究講義会で本日
度の推進計画が次のようにまと
ました。

- ・ 司会者 — 小沢鉄治（田一少）
- ・ 記録者 — 岸田イク（船橋小）
- ・ 研究テーマ
 - ・ エネルギー概念について
 - ・ 力の概念—理科学習における発
問と助言を中心にして
 - ・ 植物の成長と環境

研究方法は昨年同様部会単位で部
会部長が中心となり研究推進にあ
たり、七日中司中間検討、九月上
旬に研究のまとめを行なう。